

令和 6 年度の委員会運営方法について

1 付議事件

運動による介護予防等あらゆる世代の健康づくり及び大規模スポーツイベント開催やスポーツ関連施設の整備等スポーツの振興に関すること。

(参考：過去の特別委員会における調査・研究テーマ)

年度	調査・研究テーマ
令和 5 年度	アフターコロナにおけるスポーツ振興について
令和 4 年度	健康長寿社会の実現に向けた高齢者・青少年の日常的な健康づくりについて
令和 3 年度	トップアスリート・トップチームから始まるスポーツを通じたまちづくりについて
令和 2 年度	時代の変化を見据えた、誰もが取り組める新しい運動・健康習慣について
令和元年度	ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック等のスポーツイベントを契機とした日常の健康づくりについて

2 市会運営委員会（平成 24 年 5 月 8 日開催）での特別委員会運営方法に関する決定事項

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

3 令和 6 年度調査・研究テーマ案

地域の身近なスポーツの場の創出の取組について

(テーマ選定理由)

コロナ禍において運動の必要性に対する認識は高まったが、直近の令和 5 年度の横浜市民スポーツ意識調査によると、全ての指標で令和 4 年度の数値を下回る状況となっている。

一方、スポーツの推進は、人々が感じる楽しさや喜びに根源を持つ身体活動を推進することであり、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすもので、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。

本市においてもコロナ禍を経て大規模スポーツイベントをはじめ、地域の身近なスポーツイベントが再開しているが、よりスポーツを推進していくためには、市民にとってスポーツができる・スポーツに親しめる環境づくりが重要である。そのため、今年度は地域の身近なスポーツの場の創出の取組についてというテーマで調査・研究を行うこととしたい。